

<要求の基本的考え方>

- 教育委員会では、「北九州市教育大綱」として、市長と教育委員会で共有した方向性に沿って、子ども一人一人の個性を踏まえながら、市民総ぐるみで、本市の未来を担う子どもたちの心の中にシビックプライドを醸成する取組みを推進します。
- 「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に基づき、学校、家庭、地域それぞれがもつ教育力を発揮し、連携して子どもの教育を着実に推進し、「思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ」という本市教育の目標の実現に向けて取り組めます。
- 平成28年3月に策定した「北九州市学力・体力向上アクションプラン」に基づいた取組みを着実に実施するとともに、特別支援教育の充実や信頼される学校運営の推進、課題となっている学校施設の老朽化対策など、教育環境の向上を図ります。

心の育ちの推進・シビックプライドの醸成

道徳教育や体験活動などを充実し、規範意識の向上を図るとともに、いじめ等の問題行動の未然防止、早期発見、早期解決に取り組めます。

また、文化芸術に触れる機会などを充実し、豊かな情操を育むとともに、シビックプライドを醸成します。

- 継 北九州市中学生文化芸術祭
- 新 中学校伝統文化鑑賞教室
- 拡 心の教育推進事業



要求額 32 百万円 (対前年度 +7.3%)

学力・体力の向上

基礎的・基本的な学力や学習習慣の定着をさらに推進するとともに、子どもたちの個に応じたきめ細かい学習指導を通じて、学力の向上を図ります。

また、「1校1取組」など年間を通じた取組みの充実により、運動習慣の定着や体力の向上を図ります。

- 拡 子どもひまわり学習塾事業
- 拡 北九州市学力状況調査事業
- 拡 学校の読書活動推進事業
- 拡 部活動振興事業
- 新 学力定着サポートシステム構築・運用事業



など

要求額 1,321 百万円 (対前年度 +11.0%)

特別支援教育の充実

特別支援学校の整備など、全市的な視野に立った、特別支援教育の体制整備を進めます。

また、早期支援コーディネーターなどの外部人材の配置・活用等により、相談機能や支援体制の充実を図るとともに、教職員の専門性の向上や市民への理解啓発を進めます。

- 新 小池特別支援学校整備事業
- 新 心のバリアフリー推進事業
- 拡 特別支援学校スクールバス運行
- 拡 特別支援教育学習支援員の配置



など

要求額 488 百万円 (対前年度 +33.8%)

信頼される学校運営の推進

スクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフが、教員とともにチームとしてさまざまな教育課題に対応するための「チーム学校」の体制整備を進めます。

また、学力向上推進教員による指導助言などの取組みを通じて、教員の指導力向上を図ります。

- 拡 学校支援のための市費講師配置事業
- 拡 「チーム学校」運営・推進事業
 - ・スクールソーシャルワーカー
 - ・スクールカウンセラー

- 新 学校現場における業務改善モデル事業
- 拡 授業力向上ステップアップ事業 など

要求額 1,067 百万円 (対前年度 +8.4%)

教育環境の整備

子どもたちが快適な環境で学べるよう、小学校の普通教室へのエアコン設置を進めるとともに、安全で安心な教育環境を整備するため、大規模改修工事、外壁改修工事、グランド整備工事などの老朽化対策を進めます。

- 拡 学校施設老朽化対策事業
 - ・大規模改修事業
 - ・外壁改修事業



- 継 小学校空調設備整備事業 など

要求額 3,704 百万円 (対前年度 +9.6%)

図書館の整備、機能の充実

子ども図書館や小倉南図書館を整備など、読書に親しむことができる環境整備を進めます。

- 継 子ども図書館整備事業
- 継 小倉南図書館整備事業



要求額 726 百万円 (対前年度 +66.2%)

- ※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成 29 年度に実施することが確定しているものではありません。
- ※ 要求総額は、平成 29 年度予算を前倒した平成 28 年 12 月補正予算を合わせた金額です。
- ※ 要求額は、各項目の新規または拡充して取り組む主な事業の合計額です。